

## 第 1 回定時総会及び第 2 回理事会の報告

去る 6 月 10 日、ホテルニューオータニにおいて第 1 回定時総会を開催し、平成 22 年度の事業報告及び決算、役員及び経営諮問委員の選任等について審議し、提案のとおり承認又は可決して滞りなく終了しました。



第 1 回定時総会の様子と中鉢会長

また、引き続き開催された第 2 回理事会において、第 1 回定時総会において選任された役員の中から会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定並びに業務執行理事の業務分担等について審議し、今後の役員の役割分担等が決定されました。

承認又は可決された事項の概要は、次のとおりです。

### 【第 1 回定時総会】

#### 1 平成 22 年度の事業報告及び決算について

##### (1) 事業報告

当会の設立 16 年度目である平成 22 年度は、通信・放送分野における電波の利用に関する調査研究、研究開発、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、普及啓発事業、電波利用システムの標準規格等の策定・改定、関連外国機関との連絡及び特定周波数変更対策業務を実施しましたが、各事業とも概ね順調に遂行することができました。

すなわち、調査研究関係としては、IMT に関する調査研究を始め 6 件の調査研究、及び測位衛星システムを利用した捜索救助衛星システムの高度化に関する実証試験の受託調査を行いました。

研究開発関係としては、公共ブロードバンド移動通信システムを始め 5 件の研究開発を行いました。

照会相談業務関係としては、無線回線及び伝搬障害防止に係る照会相談業務について1,025件の処理等を完了しました。

情報提供業務関係としては、電波法関係告示、標準規格等のデータベースの維持を行うとともに、電波の有効利用に資する情報をインターネットにより提供しました。

普及啓発関係としては、電波功績賞として総務大臣賞に4団体、社団法人電波産業会会長賞に7団体6個人をそれぞれ表彰するとともに、ARIB機関誌を5回、ARIBニュースを48回それぞれ発行し、電波利用講演会を2回、電波利用懇話会を12回それぞれ開催し、会員を始め電波関係者に電波の利用に関する情報の提供を行いました。また、国際普及活動については、中南米地域、フィリピン及び南部アフリカ地域での地上デジタル放送の普及活動を行い、平成22年度は、コスタリカ、パラグアイ、フィリピン、ボリビア及びウルグアイの5カ国において、日伯方式の採用が決定されました。

標準規格の策定関係としては、セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格を始めとする標準規格及び技術資料の策定を17件、特定小電力無線局950MHz帯移動体識別用無線設備標準規格を始めとする標準規格及び技術資料の改定を54件並びに標準規格に係る著作権の取扱いに関する基本指針の制定を行いました。

特定周波数変更対策業務としては、アナログ放送とデジタル放送が混在した状況で生じるアナログ放送の受信障害対策業務等を実施し、一般受信者の約6千世帯の受信障害対策を実施し、当年度をもって特定周波数変更対策としての全ての業務を終了することができました。また、理事会の決議を受け、電波法に基づく指定周波数変更対策機関の指定に係る廃止申請を総務大臣宛に行い、平成23年3月31日をもって廃止されました。

周波数終了対策業務については、平成16年度に指定を受けた業務を平成17年度に完了していましたが、登録周波数終了対策機関は登録有効期間の満了の日（平成22年7月5日）をもって廃止されました。

また、一般社団法人への移行については、平成21年12月に臨時総会を開催し、一般法人移行を決議し、同月内閣府に認可申請を行いました。平成23年3月30日認可されました。4月1日移行登記することにより、「一般社団法人電波産業会」へ移行することとなりました。

以上のように、平成22年度も各事業計画を順調に遂行することができましたことは、会員のご協力及び関係各機関のご支援、ご協力の賜であり、厚く謝意を表するものであります。

## (2) 決算

平成22年度決算の総括表は次に掲げるとおりです。

(別紙 貸借対照表総括表、正味財産増減計算書総括表、収支計算書総括表を添付)

## 2 役員及び経営諮問委員の選任について

役員（理事12名、監事3名）及び経営諮問委員12名が選任されました。

## 3 その他

従来通常総会に引き続き行ってきた電波功績賞受賞祝賀会を本年度は実施せず、祝賀会に当ててきた経費の一部を公的機関を通じて寄付し、被災者支援及び震災復興活動に協力するが報告され、了承されました。

## 【第2回理事会】

第2回理事会においては、第1回定時総会において選任された役員の中から会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定並びに業務執行理事の業務分担について等を審議し、今後の役員の役割分担等が決定されました。

今期の役員名簿及び経営諮問委員名簿は、別紙のとおりです。

# 貸借対照表総括表

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目           | 合 計             | 一 般 会 計         | 特定周波数変更対<br>策業務特別会計 | 特定周波数終了対<br>策業務特別会計 | 内部取引消去 |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------------|---------------------|--------|
| I 資産の部        |                 |                 |                     |                     |        |
| 1 流動資産        |                 |                 |                     |                     |        |
| 現金預金          | 483,481,458     | 483,481,458     | -                   | -                   | -      |
| 未収会費          | 1,200,000       | 1,200,000       | -                   | -                   | -      |
| 未収入金          | 32,010,616      | 32,010,616      | -                   | -                   | -      |
| 出版物           | 1,935,973       | 1,935,973       | -                   | -                   | -      |
| 前払金           | 16,981,114      | 16,981,114      | -                   | -                   | -      |
| 流動資産合計        | 535,609,161     | 535,609,161     | -                   | -                   | -      |
| 2 固定資産        |                 |                 |                     |                     |        |
| (1)特定資産       | 2,821,874,798   | 2,821,874,798   | -                   | -                   | -      |
| 退職給付引当資産      | 101,085,781     | 101,085,781     | -                   | -                   | -      |
| 減価償却引当資産      | 1,020,789,017   | 1,020,789,017   | -                   | -                   | -      |
| 公益事業基金        | 1,700,000,000   | 1,700,000,000   | -                   | -                   | -      |
| (2)その他の資産     | 263,415,276     | 263,415,276     | -                   | -                   | -      |
| 建物付属設備        | 2,008,308       | 2,008,308       | -                   | -                   | -      |
| 工具器具備品        | 3,952,509       | 3,952,509       | -                   | -                   | -      |
| ソフトウェア        | 61,733,662      | 61,733,662      | -                   | -                   | -      |
| 敷金            | 195,720,797     | 195,720,797     | -                   | -                   | -      |
| 固定資産合計        | 3,085,290,074   | 3,085,290,074   | -                   | -                   | -      |
| 資産合計          | 3,620,899,235   | 3,620,899,235   | -                   | -                   | -      |
| II 負債の部       |                 |                 |                     |                     |        |
| 1 流動負債        |                 |                 |                     |                     |        |
| 未払金           | 33,335,909      | 33,335,909      | -                   | -                   | -      |
| 前受会費          | 600,000         | 600,000         | -                   | -                   | -      |
| 前受金           | 7,297,334       | 7,297,334       | -                   | -                   | -      |
| 預り金           | 3,567,506       | 3,567,506       | -                   | -                   | -      |
| 賞与引当金         | 6,862,340       | 6,862,340       | -                   | -                   | -      |
| 役員賞与引当金       | 3,918,688       | 3,918,688       | -                   | -                   | -      |
| 流動負債合計        | 55,581,777      | 55,581,777      | -                   | -                   | -      |
| 2 固定負債        |                 |                 |                     |                     |        |
| 退職給付引当金       | 20,880,834      | 20,880,834      | -                   | -                   | -      |
| 役員退職慰労引当金     | 80,204,947      | 80,204,947      | -                   | -                   | -      |
| 固定負債合計        | 101,085,781     | 101,085,781     | -                   | -                   | -      |
| 負債合計          | 156,667,558     | 156,667,558     | -                   | -                   | -      |
| III 正味財産の部    |                 |                 |                     |                     |        |
| 1 指定正味財産      | 0               | 0               | -                   | -                   | -      |
| 指定正味財産合計      | 0               | 0               | -                   | -                   | -      |
| 2 一般正味財産      | 3,464,231,677   | 3,464,231,677   | -                   | -                   | -      |
| (うち特定資産への充当額) | (2,720,789,017) | (2,720,789,017) | (-)                 | (-)                 | -      |
| 正味財産          | 3,464,231,677   | 3,464,231,677   | -                   | -                   | -      |
| 負債及び正味財産合計    | 3,620,899,235   | 3,620,899,235   | -                   | -                   | -      |

注 特定周波数変更対策業務特別会計及び特定周波数終了対策業務特別会計は開鎖したため、記載すべき事項はありません。

# 正味財産増減計算書総括表

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目                          | 合 計           | 一 般 会 計       | 特定周波数変更<br>対策業務特別会計 | 特定周波数終了<br>対策業務特別会計 | 内部取引消去 |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|--------|
| I 一般正味財産増減の部                 |               |               |                     |                     |        |
| 1 経常増減の部                     |               |               |                     |                     |        |
| (1)経常収益                      |               |               |                     |                     |        |
| ①会費収益                        | 265,710,000   | 265,710,000   | -                   | -                   | -      |
| ②事業収益                        | 560,705,438   | 359,566,438   | 201,139,000         | -                   | -      |
| ③特定資産運用収益                    | 43,291,896    | 43,291,896    | -                   | -                   | -      |
| ④雑収益                         | 723,359       | 723,359       | -                   | -                   | -      |
| 経常収益計 (A)                    | 870,430,693   | 669,291,693   | 201,139,000         | -                   | -      |
| (2)経常費用                      |               |               |                     |                     |        |
| ①事業費                         | 895,884,384   | 680,892,162   | 214,992,222         | -                   | -      |
| ②管理費                         | 108,044,285   | 108,043,350   | -                   | 935                 | -      |
| 経常費用計 (C)                    | 1,003,928,669 | 788,935,512   | 214,992,222         | 935                 | -      |
| 当期経常増減額 (A)-(C)              | △ 133,497,976 | △ 119,643,819 | △ 13,853,222        | △ 935               | -      |
| 2 経常外増減の部                    |               |               |                     |                     |        |
| (1)経常外収益                     |               |               |                     |                     |        |
| ①特定周波数終了対策業務特別<br>会計開鎖による受入額 | 0             | 709           | -                   | -                   | △ 709  |
| 退職給付引当資産受入額                  | 0             | 709           | -                   | -                   | △ 709  |
| ②特定周波数終了対策業務特別<br>会計開鎖による振替額 | 0             | -             | -                   | 709                 | △ 709  |
| 退職給付引当金振替額                   | 0             | -             | -                   | 709                 | △ 709  |
| 経常外収益計 (A)                   | 0             | 709           | -                   | 709                 | -      |
| (2)経常外費用                     |               |               |                     |                     |        |
| ①工具器具除却損                     | 1,052,515     | 1,052,515     | -                   | -                   | -      |
| ②特定周波数終了対策業務特別<br>会計開鎖による振替額 | 0             | -             | -                   | 709                 | △ 709  |
| 退職給付引当資産振替額                  | 0             | -             | -                   | 709                 | △ 709  |
| ③特定周波数終了対策業務特別<br>会計開鎖による受入額 | 0             | 709           | -                   | -                   | △ 709  |
| 退職給付引当金受入額                   | 0             | 709           | -                   | -                   | △ 709  |
| 経常外費用計 (C)                   | 1,052,515     | 1,053,224     | -                   | 709                 | -      |
| 当期経常外増減額 (A)-(C)             | △ 1,052,515   | △ 1,052,515   | -                   | 0                   | -      |
| 当期一般正味財産増減額                  | △ 134,550,491 | △ 120,696,334 | △ 13,853,222        | △ 935               | -      |
| 一般正味財産期首残高                   | 3,598,782,168 | 3,584,928,011 | 13,853,222          | 935                 | -      |
| 一般正味財産期末残高                   | 3,464,231,677 | 3,464,231,677 | -                   | -                   | -      |
| II 指定正味財産増減の部                |               |               |                     |                     |        |
| 当期一般正味財産増減額                  | 0             | 0             | -                   | -                   | -      |
| 一般正味財産期首残高                   | 0             | 0             | -                   | -                   | -      |
| 一般正味財産期末残高                   | 0             | 0             | -                   | -                   | -      |
| III 正味財産期末残高                 | 3,464,231,677 | 3,464,231,677 | 0                   | 0                   | -      |

# 収支計算書総括表

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目              | 合 計           | 一 般 会 計       | 特定周波数変更<br>対策業務特別会計 | 特定周波数終了<br>対策業務特別会計 | 内部取引消去 |
|------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|--------|
| I 事業活動収支の部       |               |               |                     |                     |        |
| 1 事業活動収入         |               |               |                     |                     |        |
| (1) 会費収入         | 265,710,000   | 265,710,000   | -                   | -                   |        |
| (2) 事業収入         | 560,705,438   | 359,566,438   | 201,139,000         | -                   |        |
| (3) 特定資産運用収入     | 43,291,896    | 43,291,896    | -                   | -                   |        |
| (4) 雑収入          | 723,359       | 723,359       | -                   | -                   |        |
| 事業活動収入計 (A)      | 870,430,693   | 669,281,693   | 201,139,000         | -                   |        |
| 2 事業活動支出         |               |               |                     |                     |        |
| (1) 事業費支出        | 857,394,175   | 655,761,980   | 201,632,195         | -                   |        |
| (2) 管理費支出        | 106,112,720   | 106,111,785   | -                   | 935                 |        |
| 事業活動支出計 (C)      | 963,506,895   | 761,873,765   | 201,632,195         | 935                 |        |
| 事業活動収支差額 (A)-(C) | △ 93,078,202  | △ 92,582,072  | △ 493,195           | △ 935               |        |
| II 投資活動収支の部      |               |               |                     |                     |        |
| 1 投資活動収入         |               |               |                     |                     |        |
| (1) 特定資産取崩収入     | 6,240,000     | 6,240,000     | -                   | -                   |        |
| (2) 敷金戻収入        | 3,960,690     | 3,960,690     | -                   | -                   |        |
| 投資活動収入計 (A)      | 10,200,690    | 10,200,690    | -                   | -                   |        |
| 2 投資活動支出         |               |               |                     |                     |        |
| (1) 特定資産取得支出     | 15,706,958    | 15,706,958    | -                   | -                   |        |
| (2) 固定資産取得支出     | 22,512,000    | 22,512,000    | -                   | -                   |        |
| 投資活動支出計 (C)      | 38,218,958    | 38,218,958    | -                   | -                   |        |
| 投資活動収支差額 (A)-(C) | △ 28,018,268  | △ 28,018,268  | -                   | -                   |        |
| III 財務活動収支の部     |               |               |                     |                     |        |
| 1 財務活動収入         | 0             | 0             | -                   | -                   |        |
| 財務活動収入計 (A)      | 0             | 0             | -                   | -                   |        |
| 2 財務活動支出         | 0             | 0             | -                   | -                   |        |
| 財務活動支出計 (C)      | 0             | 0             | -                   | -                   |        |
| 財務活動収支差額 (A)-(C) | 0             | 0             | -                   | -                   |        |
| 当期収支差額           | △ 121,094,470 | △ 120,800,340 | △ 493,195           | △ 935               |        |
| 前期繰越収支差額         | 609,968,909   | 609,472,779   | 493,195             | 935                 |        |
| 次期繰越収支差額         | 488,872,439   | 488,672,439   | 0                   | 0                   |        |

## 一 般 社 団 法 人 電 波 産 業 会 役 員 名 簿 (平成23年6月10日から平成25年6月定時総会終結まで)

(平成23年6月10日)

| 役 職 名 | 氏 名            | 所 属 ・ 役 職                      |
|-------|----------------|--------------------------------|
| 会 長   | 代表理事 片 山 幹 雄   | シャープ株式会社 代表取締役社長               |
| 副 会 長 | 広 瀬 道 貞        | 株式会社テレビ朝日 顧問                   |
| 副 会 長 | 山 田 隆 持        | 株式会社NTTドコモ 代表取締役社長             |
| 専務理事  | 代表理事 若 尾 正 義   | 常 勤 ( 事 務 局 統 括 )              |
| 常務理事  | 業務執行理事 佐 藤 孝 平 | 常 勤 ( 移 動 通 信 担 当 )            |
| 常務理事  | 業務執行理事 松 井 房 樹 | 常 勤 (研究開発本部、ICT国際協力部担当)        |
| 理 事   | 業務執行理事 横 尾 忠 晃 | 常 勤 (企画国際部、利用促進部担当)            |
| 理 事   | 大 坪 文 雄        | パナソニック株式会社 代表取締役社長             |
| 理 事   | 河 原 春 郎        | JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社 代表取締役会長 |
| 理 事   | 佐々木 則 夫        | 株 式 会 社 東 芝 取締役代表執行役社長         |
| 理 事   | 孫 正 義          | ソフトバンクモバール株式会社 代表取締役社長兼 CEO    |
| 理 事   | 中 鉢 良 治        | ソ ニ ー 株 式 会 社 取締役代表執行役副会長      |
| 監 事   | 小 谷 進          | パイオニア株式会社 代表取締役社長              |
| 監 事   | 諏 訪 頼 久        | 日 本 無 線 株 式 会 社 代表取締役社長        |
| 監 事   | 村 山 創太郎        | 株式会社ニッポン放送 代表取締役社長             |

## 経 営 諮 問 委 員 名 簿

|             |           |                                                    |                     |
|-------------|-----------|----------------------------------------------------|---------------------|
| 経 営 諮 問 委 員 | 大 林 広 明   | モ ト ロ ー ラ 株 式 会 社                                  | 代 表 取 締 役 社 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 小 野 寺 正   | K D D I 株 式 会 社                                    | 代 表 取 締 役 会 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 川 崎 秀 一   | 沖 電 気 工 業 株 式 会 社                                  | 代 表 取 締 役 社 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 川 村 隆     | 株 式 会 社 日 立 製 作 所                                  | 取 締 役 会 長           |
| 経 営 諮 問 委 員 | 篠 本 学     | 株 式 会 社 日 立 国 際 電 気                                | 代 表 執 行 役 執 行 役 社 長 |
| 経 営 諮 問 委 員 | 下 村 節 宏   | 三 菱 電 機 株 式 会 社                                    | 取 締 役 会 長           |
| 経 営 諮 問 委 員 | 富 木 田 道 臣 | 株 式 会 社 エ フ エ ム 東 京                                | 代 表 取 締 役 社 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 星 敏 典     | パ ナ ソ ニ ッ ク モ バ イ ル コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ズ<br>株 式 会 社 | 代 表 取 締 役 社 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 間 塚 道 義   | 富 士 通 株 式 会 社                                      | 代 表 取 締 役 会 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 松 本 正 之   | 日 本 放 送 協 会                                        | 会 長                 |
| 経 営 諮 問 委 員 | 三 浦 惺     | 日 本 電 信 電 話 株 式 会 社                                | 代 表 取 締 役 社 長       |
| 経 営 諮 問 委 員 | 矢 野 薫     | 日 本 電 気 株 式 会 社                                    | 代 表 取 締 役 会 長       |

(常勤理事、非常勤理事及び監事について、それぞれ氏名五十音順、経営諮問委員は氏名五十音順)

## 第 22 回電波功績賞表彰式が開催される

6 月 10 日、第 1 回定時総会に引き続き、第 22 回電波功績賞表彰式が開催され、総務大臣賞の受賞者の方々に森田総務大臣政務官から表彰状が授与されました。また、一般社団法人電波産業会会長賞の受賞者の方々に当会の中鉢会長から表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して株式会社 NTT ドコモ 代表取締役社長 山田 隆持 様からご挨拶がありました。

### 1 総務大臣賞の表彰

#### (1) 「LTE システムの開発・実用化」

株式会社 NTT ドコモ LTE 開発グループ

代表 山田 隆持 殿 (株式会社 NTT ドコモ 代表取締役社長)

移動通信分野において、高速伝送が可能な LTE システムを開発するとともに国際標準化活動を展開し、我が国初の 75Mbps サービスの提供により、電波を有効に利用した移動通信システムの実用化に大きく貢献した。

#### (2) 「宇宙ステーション補給機 HTV 近傍接近システム通信技術の開発」

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部宇宙ステーション回収機研究開発室

代表 鈴木 裕介 殿 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部 宇宙ステーション回収機研究開発室 室長)

三菱電機株式会社 HTV 近傍接近システム通信技術研究開発グループ

代表 小西 善彦 殿 (三菱電機株式会社 情報技術総合研究所アンテナ技術部 部長)

宇宙ステーション補給機 HTV において、データ中継衛星を経由する長距離通信とランデブー制御の超近距離通信を行うための近傍接近通信システムを開発し、その技術が米国航空宇宙局にも採用されるなど、電波を有効に利用した宇宙通信システムの実用化に大きく貢献した。

## 2 社団法人電波産業会会長賞の表彰

### (1) 「電磁妨害波測定法及び測定器の開発と CISPR 等における国際標準化への貢献」

エヌ・ティ・ティ・アト・バンズテクノロジー株式会社 CISPR 国際標準化・開発グループ

代表 雨宮 不二雄 殿 (エヌ・ティ・ティ・アト・バンズテクノロジー株式会社 ネットワークシステム事業本部 システム開発ビジネスユニット EMC チーム 主幹担当部長)

日本電信電話株式会社 CISPR 国際標準化・開発グループ

代表 秋山 佳春 殿 (日本電信電話株式会社 環境エネルギー研究所 エネルギーシステムプロジェクト主幹研究員)

株式会社電磁環境試験所認定センターCISPR 国際標準化・開発グループ

代表 長部 邦廣 殿 (株式会社電磁環境試験所認定センター 認定業務部 部長)

電磁環境分野において、情報技術装置から放出される電磁妨害波の抑制に必須となる測定法と測定器を研究開発し、その成果を CISPR 等の国際標準に反映させ、良好な電磁環境の維持に必要な測定技術の実用化に大きく貢献した。

### (2) 「C 帯気象レーダ狭帯域化技術の開発」

株式会社東芝電波通信技術／気象防災グループ

代表 安藤 康浩 殿 (株式会社東芝 社会システム社 小向工場電波通信技術部部長)

無線通信分野において、超伝導共振器と空洞共振器を用いたハイブリッドフィルタ技術及び固体化送信機技術により、性能を劣化させることなく、使用周波数帯域幅を従来の 1/2 とし、電波を有効に利用した気象レーダシステムの実用化に大きく貢献した。

### (3) 「地上デジタルテレビジョン放送の難視聴解消に向けたギャップフィルアーの実用化促進」

株式会社 NHK アイテック 地上デジタル放送の難視聴解消に向けたギャップフィルアーの実用化促進グループ

代表 中西 義明 殿 (株式会社 NHK アイテック 代表取締役社長)

放送分野において、地上デジタルテレビジョン放送の難視聴解消に向け、全国の山間部や地下街に同一周波数ネットワークを基本とする多数のギャップフィルアー局を設置し、ワンセグ受信も可能とするなど、電波を有効に利用したギャップフィルアー技術の実用化に大きく貢献した。

### (4) 「ミリ波帯ハイビジョンワイヤレスカメラの開発」

ミリ波モバイルカメラ開発チーム

代表 池田 哲臣 殿 (日本放送協会 放送技術研究所 主任研究員)



放送分野において、ミリ波帯の広帯域性による高画質・低遅延伝送とともに MIMO 伝送技術による高信頼伝送を可能とするハイビジョン用ワイヤレスカメラを開発し、電波を有効に利用したハイビジョン伝送の実用化に大きく貢献した。

(5)「軽量人体ファントムの開発及び実用化による携帯端末無線性能評価の高度化」

新井 宏之 殿 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授)

田中 稔泰 殿 (マイクロウェーブファクトリー株式会社 代表取締役社長)

天野 良晃 殿 (株式会社 KDDI 研究所 研究主査)

酒井 貴仁 殿 (KDDI 株式会社 課長補佐)

移動通信分野において、人体の電磁的特性を模擬した軽量人体ファントムを開発し、人体が携帯端末の無線性能に与える影響を、効率的に高精度かつ三次元で測定できる携帯端末の無線性能評価システムの実用化に大きく貢献した。



表彰式における  
中鉢会長のご挨拶



表彰式における  
森田総務大臣政務官のご祝辞



表彰式における  
羽鳥選考委員長のご挨拶



第 22 回電波功績賞を受賞された皆様



受賞者を代表して株式会社  
NTT ドコモ 代表取締役社長  
山田 隆持様のご挨拶

## 電波の日記念講演会を開催

6月9日（木）、一般社団法人電波産業会及び情報通信月間推進協議会主催、総務省後援による情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」が明治記念館の富士の間（港区元赤坂）において開催されました。

本講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をメインテーマに、総務省総合通信基盤局の桜井俊局長から「電波利用の最近の動向について」の基調講演、イー・アクセス株式会社の千本倅生代表取締役会長から「モバイルブロードバンドによる新たな社会基盤の整備」、株式会社東京放送ホールディングスの衣笠幸雄常務取締役から「東日本大震災と放送メディア」、三菱電機株式会社の下村節宏取締役会長から「宇宙インフラによる安全・安心社会への貢献」との演題で、貴重なデータや動画・音声を効果的に使った有意義な講演を頂きました。

当日会場では約180名の方が受講され盛会でした。ご講演の内容は、後日 ARIB の Web Page に掲載を予定しておりますのでご覧下さい。



電波の日記念講演会の様子



総務省総合通信基盤局  
桜井 俊  
局長



イー・アクセス株式会社  
千本 倅生  
代表取締役会長



株式会社東京放送  
ホールディングス  
衣笠 幸雄  
常務取締役



三菱電機株式会社  
下村 節宏  
取締役会長



スタジオ設備開発部会 副委員長 増原 一衛  
(日本放送協会 技術局番組施設部 専任部長)



昨年6月から、スタジオ設備開発部会の副委員長を拝命しました増原です。

スタジオ設備開発部会では、最近のスタジオ設備や運用の課題に対応するため、この秋に、スタジオ系と番組制作系の2つの分科会を統合し体制を再構築しました。また、現在4つある作業班に加えて、新たに「スタジオ映像作業班」を発足し、ITU 対応や標準規格・技術資料のメンテナンスを進めています。

私は、これまで番組制作設備の開発・整備を行ってきており、ARIBの標準規格や技術資料には、ずいぶんお世話になってきました。デジタル放送開始に向けた番組送出設備(マスター)更新、スタジオ設備更新や、データ放送を使った新しいローカル放送向けサービスの開発では、いわゆる青本をずいぶん読み込み、仕様作成やコンテンツ開発を進めてきました。

このように、いままでは利用者としての立場でしたが、今回はじめて、ARIBでの仕事を担当することになりました。新しい課題に向けた検討や規格化に加えて、規格・技術資料の維持・更新に向けた地道な活動もARIBの重要な役目であることを、実感しています。

最近の番組制作では、放送機器以外の活用や、IP ネットワーク、大容量ストレージなどのネットワーク機器やコンピュータデバイスが浸透しています。同時に、放送設備としての安定さや品質も重要となっています。また、3D や 4K、スーパーハイビジョンなどの新しい映像の実用化も進みつつあります。このように複雑で変化が激しくなってきたスタジオ設備とその運用に対して、新たな課題を見出し解決していくことが、部会の大きなテーマと考えています。

今後も、みなさまの力をお借りしながら、ARIBのさまざまな活動に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

この6月9日と10日、ARIBでは重要なイベントが続きました。ARIB ニュースではこれらをタイミングよく皆様にお伝えすべく本号の記事は盛りだくさんになりましたが、最後までご精読いただきありがとうございます。本ニュースは週刊ですが、毎日発行される新聞や日刊誌のプロの記者、写真家の方々がいかに苦勞され技術レベルが高いか痛感する次第で、彼らの作品から多くを学んでいきたいと思ひます。今後も ARIB ニュースをよろしくお願い致します。

(T.K.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)